

2 呉市・広島大学Town & Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成

経営戦略審議官・商工労働局

提案の要旨

呉市・広島大学Town & Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けた支援をお願いします。

現状及び課題

四方を海に囲まれ、海洋国家としての歴史を有する日本は、海洋に関するあらゆる分野に関係性を有し、海は極めて重要な役割を果たしています。

呉市は、瀬戸内海のほぼ中央部に位置し、海洋・海事に関わるものづくりや海運業の伝統とともに、造船、船用工業等の瀬戸内海事クラスターが形成されています。

また、海上保安大学校や広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」といいます。）の練習船基地など教育・研究機関の集積もあり、海とともに発展する海洋文化都市として、大きなポテンシャルを有しています。

一方で、大手企業事業所の休止や、人口の減少等により、呉市の経済は大きな影響を受けています。また、呉市の産業を支える造船、船用工業、海運業等の海洋・海事関連産業においては、国際的に激化する競争への対応と、人材の確保という点が課題として挙げられています。

こうした中で、呉市と広島大学は、自治体と大学が一体となって、地域課題に取り組むことで、ともに発展を続ける仕組みであるTown & Gown構想を推進し、海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けて取り組んでいくこととしました。

取組状況等

令和5年	7月	呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団の4者で「呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団の呉市・広島大学Town & Gown構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定」締結
令和5年	7月	広島大学が世界海事大学（WMU）と連携に係る意向書を締結
令和6年	1月	呉市・広島大学Town & Gown構想 海洋文化都市くれ推進協議会設立 【参画団体 73団体（令和7年3月末現在）】 国（国土交通省中国地方整備局、中国運輸局）、広島県、教育・研究機関、関係団体・企業等
令和6年	3月	広島大学が海上保安大学校及び全国五つの商船系高等専門学校と包括協定を締結
令和6年	5月	国会議員、財務省、文部科学省及び国土交通省に要望
令和6年	10月	広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトが国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」に採択
令和6年	11月	「海洋文化都市くれ海博2024」の開催
令和7年	2月	世界海事大学（WMU）、呉市、広島大学及び笹川平和財団との会談

その他、アジア太平洋船舶海洋構造工学会議（TEAM2024）、世界船舶海洋工学フォーラム（World NAOE Forum）、日本船舶海洋工学会の海洋教育フォーラムを呉市内で開催。また、令和9年の国際海洋リモートセンシング会議（PORSEC）を呉市に誘致し開催予定。

提案の内容

○ 海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けた支援

呉市・広島大学Town&Gown構想の取組は、令和5年4月28日に閣議決定された「第4期海洋基本計画」に掲げられた「総合的な海洋の安全保障」、「持続可能な海洋の構築」や、主要施策として掲げられている「海洋の産業利用の促進」、「科学的知見の充実」、「海洋におけるDXの推進」、「国際連携・国際協力」及び「海洋人材の育成・確保と国民の理解の増進」とも合致するものと考えています。

呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団が進めるTown&Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けて、格別の支援をお願いします。

【呉市・広島大学Town&Gown構想の取組項目】

- ・アジアにおける海洋・海事の国際的教育・研究・社会連携の拠点形成に関すること。
- ・海洋・海事関係の国際機関等との連携に関すること。
- ・広島大学大学院の海洋・海事に係る学際的な学位プログラムの実施等による人材育成に関すること。
- ・先進技術を活用した海洋・海事に関するデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進に関すること。
- ・瀬戸内海の自然環境を生かしたグリーントランスフォーメーション（GX）の推進に関すること。
- ・新たな海洋・海事産業の創出に向けた関連企業等との連携に関すること。
- ・その他、海洋・海事の国際的な拠点の形成に伴う連携・協力に関すること。

○ 広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトへの支援

令和6年10月に広島大学が国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の補助事業に採択された「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」では、呉市内を中心とした造船業や海運業、カキ養殖業における課題解決への取組が評価されました。

現在、海洋リモートセンシング技術を活用したカキ養殖に係る技術開発を柱とし、広島大学、呉市、建設コンサルタント事業者及び漁業関係者と研究テーマについて議論を行っており、カキ養殖業発展のための新養殖管理システムや造船業発展のための新運航システム、海運業発展のための新海運システムの開発などを検討しています。

広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトに対して、県立総合技術研究所水産海洋技術センターによる技術的助言など、格別の支援をお願いします。



呉市、広島大学、海上保安大学校及び
笹川平和財団4者協定締結



倉橋島のカキ筏と抑制棚